



みんなで「明るく頑張る」後期にしましょう！

10月13日（火）に、後期の始業式をしました。前期の通知表の記述を読んで、子供たちの成長ぶりがうれしかったことを伝えました。また、各学年の所見欄の紹介をしながら、「自進力」（セルフマネジメント力）が身に付いた姿の例を示しました。それから、明るく頑張る6年生の姿が、周りに良い影響を及ぼしていることを紹介しました。学校でも社会でも、家庭でも、楽しいことばかりではありません。思い通りにならないことや苦労することもあります。が、「あと少し、頑張ろう！」と笑顔で行動する人がいれば、その場の雰囲気も前向きなものになっていきます。後期は、運動会をはじめ様々な行事があります。勉強や委員会活動なども充実する時期です。また、次の学年への進級進学に向けて、前進していかなければなりません。『なりたい自分』『なりたいクラスの姿』に近づくために、明るく頑張る良い雰囲気をつくっていきましょう」と子供たちと約束し、後期をスタートさせました。



実りの秋！ 実体験の驚きと感動をありがとうございました！

10月15日（木）、青野にお住いの竹下さんの田んぼで、5年生が稲刈りをさせていただきました。都会っ子ではありませんが、鎌で稲を刈る経験は初めての子供がほとんどです。五感を働かせ、これまでの経験と比べながら、子供たちは豊かに学び取っていました。

これも竹下さんをはじめ、ご協力いただいた地域の方々のおかげです。心より感謝申し上げます。

（前略）落穂拾いでは、一つ一つのお米も大切だなと思いました。私は、稲刈りの体験をして、給食に出るごはんも一つ一つ大切に、味わって食べていきたいです。

（前略）稲刈りをして、農家の人たちの苦労が分かった気がします。腰が痛くて、もし指を切ってしまったらと思うと、足がすくんで手が震えてしまいました。ただ頑張ろうと思うと、元気もわきました。これで稲刈りは終わったけど、まだ、玄米↓お米↓ご飯へと思うと、まだまだこれから苦労が残っています。僕がお米農家だったら、一回やるだけでめげてしまいます。でも、皆様含め、お米農家の方がめげずにやってくれているおかげでご飯が食べられています。いつもお米を作ってくれてありがとうございます。

（前略）もうちょっとカマの使い方を学んで、もう一回頑張りたいです。米作りで大変なことは、水やりや稲の管理です。僕のバケツの稲は、実が食べられています。また稲をもらえる時は、ちゃんと世話したいです。

（前略）稲を刈る時、「ザザッ」と切れるのが楽しかったです。また、落穂拾いは初めてでしたが、楽しく、「コン」で稲を入れるのも楽しかったです。僕たちがしたのだけで120キロもあって、売れば8万円ということですからすごいです。今度おばあちゃんの稲刈りがあるので、昨日みたいに速く刈りたいです。

日曜日は、いよいよ運動会です。
応援をよろしくお願ひします！

